

町交通体系再編の方向性について

(平成29年5月11日現在)

凡例

- 上林線 (緑線)
- 須賀川線 (紫線)
- 菅・角間線 (青線)
- 熊の湯 硯川線・奥志賀高原線 (茶色線)
- 長野電鉄長野線 (黒線)
- コミュニティバス (オレンジ線)

- 既存バス停 (バスアイコン)
- 新設バス停(案) (バスアイコン)
- タクシー乗り場 (TAXIアイコン)

＝再編の方向性＝

- 最も利用者が多い「上林線」を中心とした運行形態へ移行する。
- 廃止方針が出されている「須賀川線」の代替として、移動窓口サービスを拡大した「定時定路線型コミュニティバス」を運行する。
- 「上林線」は、現行の運行時刻を基本とし、夜間瀬駅経由にルート変更を行い効率的な運行を確保する。
- 「菅・角間線」の湯田中駅～角間温泉～菅区間の路線は廃止し、「定時定路線型コミュニティバス」の運行に変更する。
- 「菅・角間線」の菅～中野駅（往復4本）、湯田中駅～中野駅（往復3本）の路線は当面存続することとし、数年後を目途に見直す。
- コミュニティバスは、1年間は実証運行とし、運賃無料・バス停を細かく設置・交通空白地区の解消・運賃設定など、利用実態調査とアンケートにより効果を調査・検証し、有償運送への移行を検討する。



コミュニティバス実証運行

◆目指す姿

- 高齢者の外出機会の増加
- 廃止される路線バスの代替交通手段の確保と交通空白地区の解消
- 鉄道や路線バスへの乗換え接続性向上による双方の利用者数の増加
- 町内間の移動交流による内需の増加
- 買物や通院等日常生活ニーズへの充足

◆イメージ(案)

【実証運行開始予定】
平成29年10月

【運行ルート】

- 西・北部線(仮称)
湯田中駅→役場→和田→夜間瀬駅→前坂→苗間→乗廻→下須賀川→裏落合(往復)
- 南部線(仮称)
湯田中駅→湯ノ原→角間温泉→寒沢→菅→佐野→穂波温泉→湯田中駅

【接続調整】

- 西・北部線 夜間瀬駅での電車発着と上林線(上り・下り)の乗継ぎ接続を考慮
- 南部線 湯田中駅での電車時刻との乗換え接続を考慮

【運行日】

- 西・北部線 原則、毎日運行
- 南部線 土・日・祝日及び12/29~1/3は運休

【運行時間帯】
6時台から19時台

【運行時刻・本数】

- 西・北部線 午前3本、午後3本 計6本程度
- 南部線 午前2本、午後3本 計5本程度

【運賃】
実証運行のため無料

【運行車両】
送迎仕様ワゴン車(10人乗り)1台

